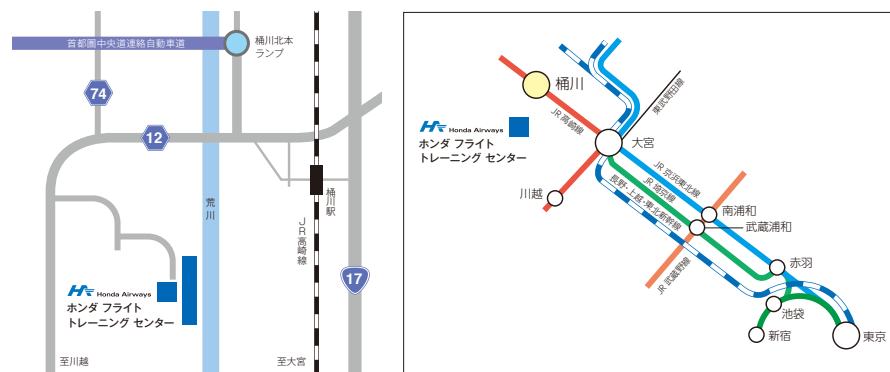


ACCESS MAP



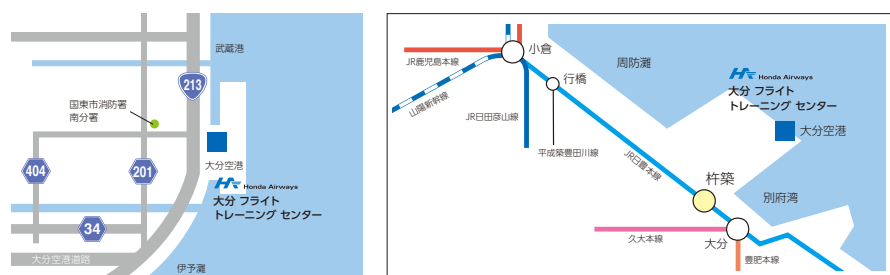
ホンダ フライト トレーニング センター

〒350-0141 埼玉県比企郡川島町出丸下郷 53-1 TEL 049-299-1124 FAX 049-299-1118



大分 フライト トレーニング センター

〒873-0421 大分県国東市武蔵町糸原 3286-14 TEL 0978-64-8311 FAX 0978-64-8314



お問い合わせ先：

本田航空株式会社 フライト・トレーニング・センター

〒350-0141 埼玉県比企郡川島町出丸下郷 53-1 TEL 049-299-1124 FAX 049-299-1118

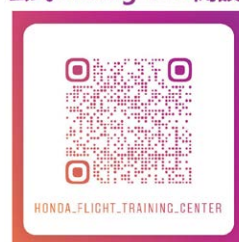
mail：infohftc@honda-air.com



ホームページも合わせてご参照ください。

<http://www.honda-air.co.jp>

情報発信中
公式 Instagram 開設!



Honda Flight Training Center

Honda Airways

Get a dream!

心を育てることから始めます。それが Honda Airways です。

本田航空は創始者本田宗一郎の“夢と志”を引き継ぎ、乗員養成部門として、資格取得の技量付与のみならず、将来、機長として安全運航を堅持し、航空界で活躍し、長く社会に貢献出来る人材の育成を目指します。
その為に、基礎教育の中で、基本的事項の付与は勿論、将来必要とされる能力の方向性を付与し、自発的に考え、工夫し、行動できる意識、概念を体得してもらう事を目指します。

Self-Management 自己責任感・自己学習・自助努力

Aspiration 向上心

Health Care 健康管理

総合技量管理体制の更なる構築を目指しています。

- ・自分の事は自身で考え、決断し、責任を持って行動する意識を持つ。
- ・自分に適した日常健康管理に留意し、実践出来る。
- ・常日頃から、必要な知識は自ら習得する意識を持つ。自ら手に入れたものは有効に生かされる。
- ・プロとして、常に自助努力の必要性が認識出来ており、日々向上している。



グローバルな今の時代だからこそ プロフェッショナルな仕事が求められています。

世界はグローバル化の流れの中で、それぞれのリスクを抱えながらも交わり合い、連携を模索しています。地球全体の連携、理解を深めるために、世界、日本の人々を迅速に結びつける手段として、航空交通機関の果たす役割は大きく、重要です。

乗員養成部門として、世界の空の安全、日本の空の安全を守り、運航を維持する要員を育成する責任は大きく、また社会に対する貢献も高いと考えられます。

トレーニング カリキュラムのご紹介

国内一貫教育コースの場合

事業用操縦士コース【CPL Course】*CPL…Commercial Pilot Licence

PHASE 1

パイロットとしての新たな人生のステージが幕を開けます。

PHASE 2

大分空港を拠点に、プロフェッショナルへの更なる高みを目指します。

多発限定コース【MR Course】*MR…Multiengine Rating

大分空港をベースとして訓練を行います。高い効率性と集中できる環境をご用意しています。

計器飛行証明コース【IR Course】*IR…Instrument Rating

大分空港をベースとして、10ヶ所の空港で訓練を行います。実践的マネジメント訓練を取り入れています。





人材の育成に大切な事とは、絆から生まれるコミュニケーション能力とプロになる為の自助努力に他ならない、と考えています。

エアラインパイロットを養成する本課程では、事業用操縦士コースからスタートします。国内一貫教育コースでは、PHASE1(自家用相当)を履修後、PHASE2(事業用相当)へ進み免許取得を目指し一気に駆け上がります。Honda Airwaysではその教育の場を飛走路脇に配し、時間的効率だけでなく制限を受けない離着陸でストレスなく訓練に打ち込めます。寮で共同生活をしながら飛行訓練に取り組み、コミュニケーションスキルを身につけ、プロとしての技術と心を学んでいきます。

資格取得までの流れをご紹介します。



Honda Airwaysが人材育成に力を入れる3つの柱

- ・指導体制の強化 指導体制強化の一環として、エアラインFFS(B737-NG/A320)によるJET慣熟・エアライン運航慣熟を目的とした教官研修などを実施しています。未来のパイロットにとって起こりうる重要な事柄や、要望・養成等を見据え、指導体制の充実を計っています。
- ・座学体制の強化(必要教材の体系化) 必要教材の体系化、電子化ネット閲覧、集合形式／セルフ・スタディ等の工夫による効率化を図り、座学体制の更なる充実を目指しています。
- ・施設の充実(指定養成施設としての認定) ... 新たに格納庫等を増設し、収容人数対応能力を増やし、教育環境の充実を計っています。

訓練機のご紹介

セスナ 172S 単発高翼のレシプロ機で最も多く使用されているベストセラー機。自家用操縦士課程と事業用操縦士課程の飛行訓練で使用しています。

ダイヤモンド DA42-VI ダイヤモンド社製の最新機を使用し、環境に配慮するとともに高い訓練効率を実現。計器飛行証明コースと多発限定コースで使用します。

機材数…… FTD×4、C172S×10、DA42×2



DA FTD



Cessna 172S Skyhawk



Diamond DA42-VI TWIN STAR



Curriculum

Honda Airwaysで乗員養成課程を修了するための3つのカリキュラムをご紹介します。

この乗員養成課程では、教養豊かなプロの教官が、これまでの訓練で蓄積された豊富な経験と質の高いシラバスをもとに、資格の取得だけでなく航空業界が求めている人材を育成することで、訓練生の皆さまが目標に到達できるようお手伝いをしています。



事業用操縦士コース

— 航空局航空従事者養成施設 —

Cassna 172S Skyhawk Performance

Maximum Cruise Speed : 124ktas (230km/h)
Range : 640nm (1,185km)
Maximum Operating Altitude : 14,000ft (4,267m)



創始者 本田宗一郎が夢を描いて誕生させた、ホンダエアポートまたは大分空港にて、プロへの第一歩を踏み出します。Honda Airwaysの教育実績が示している通り、これまでに多くの乗員を育成し、今日の航空業界を支えて参りました。これからも、単に試験に合格することに終わらず、真のプロフェッショナルを育成し続けることで、日本の航空業界で活躍し今後の発展に寄与できる人材を育成します。

学科教育時間配分 (PHASE1 課程259時間含む)

科 目	教育時間	合計時間
航空の安全に関する一般知識	25.0	460.0
救急法		
プロフェッショナルとしての知識の醸成		
航空気象	220.0	
空中航法 (1)地文航法、推測航法及び無線航法 (2)飛行計画 (3)運航管理 (4)人間の能力と限界(ヒューマン・ファクターを含む)		
航空通信(概要)		
航空法規(航空交通管制及び航空情報を含む)		
航空工学 (1)飛行理論 (2)航空機構造 (3)航空機装備(動力装置含む) (4)航空機整備 (5)重量重心位置		
航空機の取扱いに関する一般知識	185.0	
航空機の操縦に関する一般知識		
試 験		
	30.0	

実技教育時間配分 (PHASE1 課程実機78時間／FTD24時間含む)

航空従事者養成施設 指定申請・審査要領における教育課目	標準教育時間				合計時間
	同 乗		機 長		
	実 機	FTD	実 機	FTD	
1. 飛行場及び場周経路における運航	23+50	3+10	15+10	－	42+10
2. 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止					
3. 基本的な計器による飛行	5+40	2+30	6+00	－	14+10
4. 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行	19+15	8+40	18+15	－	53+35
5. 野外飛行	20+10	9+40	37+15	－	67+05
6. 夜間の飛行(野外飛行の経験を含む)	(3+00)	－	(2+00)	－	(5+00)
7. 異常時及び緊急時の操作	(2+00)	－	－	－	(2+00)
8. 技能審査	－	－	(7+15)	－	(7+15)
合 計	70+00	24+00	75+00	－	177+00 (含FTD24+00)

※履修時間は変動する場合があります。予めご了承ください。
※合計時間は国内一貫教育コースの場合の最小時間を表示しています。

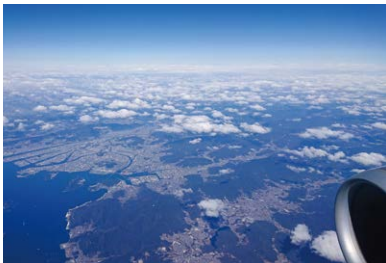


多発限定コース

— 航空局航空従事者養成施設指定 —

Beechcraft G58 Baron Performance

Diamond AIRCRAFT DA42-VI Performance
Maximum Cruise Speed: 197kts /227mph(365km/h)
Range: 1,215nm(2250km)
Maximum Operating Altitude: 18,000ft(5,486m)



学科教育時間配分

科 目	教育時間	合計時間
航空工学	4.0	40.0
航空法規	2.0	
航空機の取扱に関する一般知識	14.0	
飛行機の操縦に関する一般知識	14.0	
試 験	6.0	



実技教育時間配分

航空従事者養成施設 指定申請・審査要領における教育課目	標準教育時間		合計時間
	実 機	FTD	
1. 飛行場及び場周経路における運航	8+00	—	8+00
2. 各種離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止			
3. 基本的な計器による飛行	3+00	7+30	10+30
4. 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作及び型式の特性に応じた飛行	8+00	2+30	10+30
5. 異常時及び緊急時の操作	(1+15)	(0+45)	(2+00)
6. 技能審査【機長時間】	(1+00)	—	(1+00)
合 計	19+00	10+00	29+00

※履修時間は変動する場合があります。予めご了承ください。
※合計時間は、最小時間を表示しています。



計器飛行証明コース

— 航空局航空従事者養成施設指定 —



計器飛行訓練においては、訓練に使用できる空港に制約ある場合、どうしても限定された空港に特化したシラバスになってしまいますが、当訓練所においては、訓練に使用する空港は13空港にも渡り、多様な訓練に対応しております。それにより実践的なマネージメントを訓練に取り入れることが可能となり、他の訓練所には無い、より質の高い内容の訓練を提供しています。

学科教育時間配分

科 目	教育時間	合計時間
推測航法及び無線航法(含RNAV)	8.0	104.0
航空機用計測機(含G1000, GPS等)	8.0	
航空気象(IFR関連)	8.0	
航空気象通報式(IFR関連)	4.0	
計器飛行等の飛行計画	10.0	
計器飛行に関する航空法規	8.0	
航空通信(IFR関連)	10.0	
計器飛行等に関する人間の限界等	2.0	
航空機の取り扱い	18.0	
航空機の操縦法	18.0	
試験	10.0	

※「多発限定コース」を修了した者については、教育時間を28時間減する事ができます。



実技教育時間配分

航空従事者養成施設 指定申請・審査要領における教育課目	標準教育時間				合計時間
	同 乗		機 長		
	実 機	FTD	実 機	FTD	
1. 空中操作	0+30	2+00	1+00	－	3+30
2. 計器飛行方式	3+00	5+00	4+00	－	12+00
3. 計器飛行方式による野外飛行	5+00	6+00	10+00	－	21+00
4. 基本的な計器による飛行	1+00	2+00	3+00	－	6+00
5. 異常時及び緊急時の操作	(1+30)	(1+30)	(3+00)	－	(6+00)
6. 技能審査	－	－	(2+30)	1+30	4+00
合 計	9+30	15+00	20+30	1+30	46+30 (含FTD16+30)

※履修時間は変動する場合があります。予めご了承ください。
※合計時間は、最小時間を表示しています。

Honda Flight Training Center

ホンダ フライト トレーニング センター

埼玉県比企郡川島町



エアポートを独占できる環境で履修が流れます。
Honda Airwaysでの訓練時間にはムダがありません。

ホンダ フライト トレーニング センターでの訓練に使用するホンダエアポートは、本田航空が自社で運営しており常に訓練で使用できるように管理されています。また、夜間照明設備を備え夜間の運用にも対応していますので、資格取得に必要な要件である夜間の飛行経験を充足することが可能です。
立地面では訓練空域の中に位置していることから飛行時間を無駄なく訓練に充当し効率の良い訓練を行うことができるほか、高速道路での各方面からのアクセスにも恵まれています。

ロケーション

Location

ホンダエアポートのある埼玉県の川島町は、関東平野をゆったりと流れる荒川河川敷にあり、田園の広がる緑豊かな町です。現在は産業発展にも力をいれており、活力ある場へと変貌しつつあります。



Honda Airways
ホンダ フライト トレーニングセンター
センター長

板倉 利治

12530 時間
2021/6/1 現在

経歴 YS-11/B737教官、技量管理者
新機種(B737-500)及び同機種SIM導入作業
指定航空従事者養成施設(基礎課程、B737)認定準備作業
B737訓練SIM化準備作業
LOFT訓練開設作業
小型機による長距離国際線運航(Business-jet)開設作業
前職 ANK常務取締役役運航本部長
乗務資格 定期運送用操縦士、教育証明

本田航空は、創始者本田宗一郎の“大空への夢と志”大空への憧れを青少年に実現させてやりたい!人と社会の為に空をもっと身近にしたい!という想いを引き継ぎ、防災、及びドクターヘリコプター、飛行機操縦訓練などの分野にて社会に貢献すべく実績を重ね、2019年に55周年を迎える事が出来ました。

「本田航空フライト・トレーニング・センターは、乗員養成部門として、航空交通機関の社会に果たす役割の重要性を認識し、今までの経験を活かしつつ、更なる進化を成し遂げ、安全運航を維持する要員の育成に確実に対応し、社会及び航空界のニーズに答えるべく、安全を最優先に、自主的、建設的努力」

を続けてまいります。



OITA Flight Training Center

大分 フライト トレーニング センター

大分県国東市



訓練効率の上がる好立地条件、
空港併設のトレーニングセンターです。

大分空港をベースとしての訓練環境は今まで航空会社が使用していた実績等からも分かる通り、他の空港には無い利便性があり、訓練効率を最大限に上げることができます。

訓練空域へは最短で10分とかからず到達でき、エアポートワークにあつては、離着陸の制限を受けることもありません。訓練時間の半が移動時間に消費されてしまうようなムダもありませんので、思う存分訓練に集中して頂ける環境をご用意させて頂いております。



ロケーションー大分

Location-OITA

大分空港は、大分市の中心部から北方約 30km に位置し、国東半島東部の国東市武蔵・安岐の地先水面を埋立てて建設された海上空港になります。東に伊予灘、南に別府湾と、東南部は眺望の美しい海岸線となっています。



Trainee of Trainer

エアラインが求める人材を育成する為に
総合技量管理体制の更なる構築を目指しています。

指導教官の育成に力をいれています。

本田航空 フライト・トレーニング・センターではエアラインが求める人材を育成する為、総合技量管理体制の更なる構築を目指しています。指定養成施設として認定されることによる施設の充実、指導体制の強化、必要教材の体系化による座学体制の強化です。

指導体制の要となる教官は元エアライン、航空大学校、民間飛行学校、防衛省など幅広く、様々な経験を基にトータル・パフォーマンスを指導体制に活かしています。

今後も乗員養成部門の一翼を担い、社会、航空界のニーズに答えられるよう努力致します。



◆Honda Airwaysでは教官の実習を定期的実施しています。

JAL/PANDAにおけるFFS研修

飛行技術の進歩や新型機種導入に伴い、更なる指導体制強化の一環として、エアラインFFS (B737-NG/A320) によるJET慣熟、エアライン運航慣熟などを目的とした教官研修、実習を定期的実施し、2MEN CREW CONCEPT, CRM, MCC, NON TECHNICAL SKILL, TEMなどを理解し、免許の付与のみならず、将来必要とされる能力の方向性を付与し、自発的に考え、工夫し、行動できる意識、概念をも習得した人材育成を目指し、指導体制の充実に努力しています。

2013年より毎年、Honda Airwaysの教官2名が、JAL /PANDA FFSによる約1ヶ月の教官実習研修を受講、2017年も1ヶ月に及ぶJAL MCC実習を受講しています。また、2016年には、再び全教官を対象として、JALにてリカレントの座学研修を実施、2017年以降、新人教官へ1日座学研修を実施しています。教官座学研修では将来のパイロットを育てる事の重要性や、現代に則した履修方法などを改めて修得した研修内容でした。

このようなレベルの高い研修を受講する事により、Honda Airwaysでの教育水準は高く保たれています。



PANDA

Honda Airwaysの訓練教官を紹介します



ホンダ FTC所属教官



鈴木 知則

事業用操縦士
操縦教育証明
計器飛行証明

1991年 1月 本田航空株式会社入社
2009年 1月 自家用・事業用操縦士
資格取得訓練担当

5,253 時間
2021/6/1 現在

ホンダ FTC所属教官



真尾 太輔

事業用操縦士
操縦教育証明
計器飛行証明

2007年 9月 航空大学校入学
2010年 4月 本田航空株式会社入社
2012年 8月 自家用・事業用操縦士
資格取得訓練担当
計器飛行証明資格取得
訓練担当
2017年 6月 技能審査担当操縦士
2019年12月 指定養成従事者養成施設の
事業用操縦士課程技能審査員

4,100 時間
2021/6/1 現在

大分 FTC所属教官



加藤 学

事業用操縦士
操縦教育証明
計器飛行証明

2013年10月 本田航空株式会社入社
2014年 6月 自家用・事業用操縦士
資格取得訓練担当
2020年 9月 多発限定・計器飛行証明
資格取得訓練担当

3,620 時間
2021/6/1 現在

大分 FTC所属教官



宇山 洋司

事業用操縦士
操縦教育証明
計器飛行証明

2002年 5月 本田航空株式会社入社
2006年 9月 自家用・事業用操縦士
資格取得訓練担当
2007年 3月 多発限定・計器飛行証明
資格取得訓練担当
2018年 1月 計器飛行証明課程技能
審査員

8,599 時間
2021/6/1 現在

大分 FTC所属教官



杉山 多賀夫

事業用操縦士
操縦教育証明
計器飛行証明

1990年 4月 航空自衛隊入隊
2008年 4月 本田航空株式会社入社
2009年 4月 自家用・事業用操縦士
資格取得訓練担当
2010年 8月 指定航空従事者
養成施設の自家用操縦士
課程技能審査員
2011年 7月 指定航空従事者
養成施設の事業用操縦士
課程技能審査員
2011年 8月 多発限定資格取得
訓練担当
2011年11月 計器飛行証明資格取得
訓練担当
2013年10月 多発限定課程技能審査員
2014年 4月 計器飛行証明課程訓練担当
2018年12月 事業用操縦士技能証明課程
技能審査員

8,550 時間
2021/6/1 現在

大分 FTC所属教官



吉本 祐造

定期運送用操縦士
操縦教育証明
B737 機長

1970年 3月 海上自衛隊
1994年 3月 エアーニッポン
2012年 4月 ANA
2016年 1月 ANAWINGS
2017年 5月 本田航空株式会社入社

16,556 時間
2021/6/1 現在

本田航空による、乗員養成実績です。

養成実績数	
2011年度	49
2012年度	99
2013年度	134
2014年度	52
2015年度	55
2016年度	57
2017年度	54
2018年度	46
2019年度	50
2020年度	54
合 計	650名

本田航空(昭和39年設立)

訓練事業会社においては、資格を取得した操縦士が
下記の航空会社に就職し、機長や副操縦士として航空業務に従事し、
貢献する事により、国内乗員養成の一翼を担っています。

主な就職先(五十音順)

- アイベックスエアラインズ株式会社
 - 天草エアライン株式会社
 - ANA ウイングス株式会社
 - オリエンタルエアブリッジ株式会社
 - 株式会社 AIRDO
 - 株式会社 ジェイエア
 - 株式会社 スターフライヤー
 - 株式会社 ソラシドエア
 - 株式会社 フジドリームエアラインズ
- 株式会社 北海道エアシステム
 - ジェットスター・ジャパン株式会社
 - スカイマーク株式会社
 - 春秋航空日本株式会社
 - 日本航空株式会社
 - 日本エアコミューター株式会社
 - 日本トランスオーシャン株式会社
 - Peach Aviation 株式会社
 - 琉球エアコミューター株式会社
その他

本田航空の乗員養成部門は、現在自社の乗員養成訓練をはじめ、法政大学の乗員養成
訓練受託、ANAウイングス株式会社、Peach Aviation株式会社の自社養成訓練受託、
日本航空の操縦教育証明訓練受託、三菱重工業訓練生の計器飛行証明の訓練受託、
JAXA宇宙飛行士のC172による自家用操縦士取得訓練、G58による慣熟、多発限定/
計器飛行証明の訓練受託など実績を重ねつつ努力を続けています。

FAQ

よくある質問・疑問にQ&Aでお答えします。

- Q：** 必ずライセンスは取得できるのでしょうか？

A： 入校者全員がライセンスを取れることを目指しています。
しかし訓練中は何度も試験等の関門があり、それらに合格しなければ次のステップへ進めません。
- Q：** 学生寮はありますか？

A： 寮はご用意しておりますが部屋数に限りがありますので、詳しくはお問い合わせください。
- Q：** 女性もパイロットとして採用されますか？

A： 海外の航空会社では多くの女性機長が活躍しています。日本の空でも女性パイロットが活躍し始めています。
- Q：** 身長など、身体的なことでの制限はありますか？

A： 身長は158cm以上、入学に際しては本学指定の身体検査(第一種航空身体検査相当)に合格出来ること。
- Q：** これまで文系科目を中心に学んできましたが大丈夫でしょうか？

A： プロパイロットは、幅広い知識、判断力、協調性を持ち、多様な価値観に対応できる想像力に富んだ人材が求められています。
文系の教育要素も多く含まれるため、必ずしも理系で学んできた方が有利とは限らない分野です。
- Q：** ライセンスを取得すれば操縦士として就職できるのですか？

A： 各航空会社の採用試験に合格する必要があります。※就職実績の詳細については、上段を御覧ください。
- Q：** 訓練に使用する機材について教えてください。

A： 自家用、事業用の訓練ではセスナ172S、多発限定、計器飛行証明の訓練ではホーカー・ビーチクラフト G58を使用します。